

浜坂高生が地域食堂、住民と交流へ

22日に地域食堂を開く生徒たち―いずれも
浜坂高校



旧食堂で22日初開催、「来る人みんなを笑顔に」
地元食材のカレー50食分用意



地域食堂の準備を進める

新温泉

新温泉町芦屋、浜坂高校の旧食堂で初の地域食堂が22日、開かれる。メニューは同町の猟師が捕獲したシカ肉と浜坂ちくわの合い

がけカレー。食材は地元農家などから提供してもらい、50食分を用意する。

地域の課題解決などに取

り組む授業「クエスト」の一環で、1年生10人の地域食堂班が企画する。昨年度、同校の生徒たちとJR浜坂駅前の空き店舗を改装してカフェをオープンさせた同町の小舟美穂さん(37)がアドバイザーとして授業に参加し、地域住民と交流できる場として地域食堂を提案したという。

カレーはシカ肉と浜坂ちくわ、ジャガイモ、タマネギ入りで、ルーの上にカボチャの薄切りをトッピングする。焼き芋のスティックも付ける。

野菜は同町堀山の農産加工やまもと、同町枋谷の道の駅山陰海岸ジオパーク浜坂の郷が提供する。

米とルーは美方郡と鳥取県東部で支援する「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」から町社会福祉協議会

を通して、シカ肉は同町石橋の加工所「KASEGI(カセギ)」からもらい受ける。

10月末に生徒らで試食会を開いたほか、小学校やこども園、図書館などに配るチラシを制作した。

地域食堂班の石野湊人さ

ん(16)、中村洋翔さん(15)、田中弘真さん(16)は「地元の食材を使ったカレーで来る人みんなが笑顔になれば」と話す。

地域食堂は正午～午後2時半。1食100円。正午から整理券を配る。浜坂県民サンビーチ駐車場を利用できる。同校☎0796・82・3174。

(長谷部崇)